

Hottest PR!

大阪大学で日々生み出される研究成果。このうち、2025年1月から6月末までに公開され、反響（WEB閲覧数や新聞報道等）が大きかったプレスリリース記事をご紹介します。

Research at UOsaka
ResOU

ページビュー TOP5

- 1 **胃カメラしながら膵がんの早期発見**
早期膵がん発見し検診に応用可能な診断法の開発
7,739 PV
- 2 **宇宙ニュートリノの起源を説明する新理論**
強いニュートリノ信号と弱いガンマ線の矛盾に新たな解答
5,767 PV
- 3 **細胞老化と若返りを制御する
新たな分子メカニズムを発見**
抗老化技術の開発につながる可能性
3,900 PV
- 4 **人工知能が人と同じ視線を獲得した！**
「詰め込み教育」ではだめ、
「情報量を最大化する自発的な学習」が鍵
2,606 PV
- 5 **急性骨髄性白血病（AML）の新しい治療法を開発**
臍帯血由来の免疫細胞療法による白血病治療の新展開
2,177 PV

新聞等メディア掲載 TOP5

- 1 **地域に生き世界に伸びる / 世界中の“地域”課題解決を
デザインする、未来社会のリーダーへ！**
「国際卓越研究大学」の第2期公募に申請
報道メディア：毎日新聞ほか34件
- 1 **米国大学留学生・研究者の学修・研究の継続を
大阪大学が支援します**
医学系研究科では6億円以上の自己財源により100名程度の研究員受入れ体制を構築
報道メディア：日本経済新聞ほか34件
- 3 **サルも親しかった仲間の遺体に寄り添う**
サルの死生観：
死にゆく仲間に向けられた“社会的絆”と“嫌悪感”
報道メディア：共同通信ほか23件
- 4 **胃カメラしながら膵がんの早期発見**
早期膵がん発見し検診に応用可能な診断法の開発
報道メディア：産経新聞ほか21件
- 5 **精子の形成に必要なタンパク質複合体を発見**
細胞質を除去できず折れ曲がる精子
報道メディア：日刊工業新聞ほか10件

Research at UOsaka
ResOU Pick Up

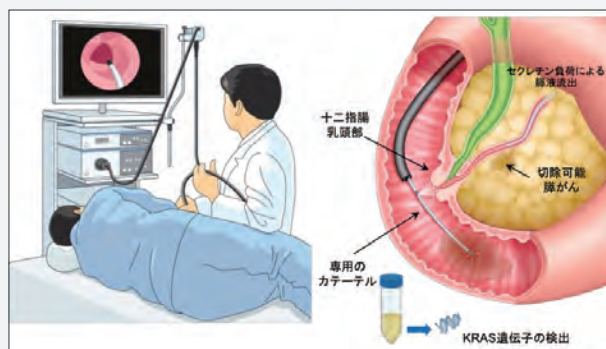
2025/2/20

胃カメラしながら 膵がんの早期発見

早期膵がん発見し検診に応用可能な診断法の開発

大阪大学大学院医学系研究科の谷内田真一教授の研究グループが、胃がん検診の胃カメラ検査の際、十二指腸乳頭部を洗浄し、その回収液を遺伝子検査することで早期発見が難しい膵がんを高精度で診断する方法を開発しました。膵がんの早期発見・早期治療に貢献し、膵がん克服に向けた大きな一歩となる研究成果です。

谷内田教授がアメリカ留学時代に構想し、試行錯誤をしながら約15年をかけて出来上がりつつある、内視鏡先進国（内視鏡の世界シェアは日本企業でほぼ100%）の日本オリジナル検査です。



報道メディア：産経新聞ほか21件
ResOU ページビュー数：7,739PV

[ResOU Web] http://osku.jp/NL93_HOTPR



Research at UOsaka
ResOU

時代の先を行く知見がいっぱい。
大阪大学からプレスリリースした研究成果は「ResOU」でご覧いただけます。
<https://resou.osaka-u.ac.jp/ja/research> ➔

